

大正大学 第3回 高大連携フォーラム プログラム

※事前申込制:定員120名
(締切:3月12日)

14:00

オープニング 大正大学 学長 大塚 伸夫

基調講演

14:05

「ライティングの高大接続—レディネスを測る・高める—」

[ゲスト] 文部科学省初等中等教育局
教科書調査官(体育) 渡辺 哲司

第一部 研究・実践報告 「高校から大学への文章表現教育」

14:35

「高校における文章表現教育はどのように行われているのか」
—入学生の調査から見えてきたこと

大正大学 教育開発推進センター 春日 美穂

14:50

「17歳の卒論一個人課題研究の取り組みから」
—課題探究のためのラーニングスキルを身につける方法

[ゲスト] 茗渓学園中学校高等学校 三島 侑子

15:10

「高校教育からの接続を大学はどのように受け止めるか」
—大学における文章表現教育の実践

大正大学 教育開発推進センター 由井 恭子

15:25

休憩(10min)

第二部 ワークショップ 「協働する書き手を育てる」

15:35

「ピアフィードバックができる主体と集団を育てる」

[ゲスト] 筑波大学附属駒場中・高等学校 澤田 英輔
[ゲスト] 創価大学 学士課程教育機構 佐藤 広子

※講師による解説とワークショップを行います

16:45

休憩(5min)

第三部 パネルディスカッション

16:50

生徒・学生の「書けない」問題にどう取り組み、どう育てるか

パネリスト: 基調講演、研究・実践報告、ワークショップに
ご登壇いただいた先生方

※パネリストへの事前質問は申込フォームにて承ります

17:20

クロージング 大正大学 教育開発推進センター長 吉田 俊弘

※このフォーラムは「大正大学学術研究助成金」の支援を受けています。

高大連携フォーラム ダイジェスト

第一部 研究・実践報告

「高校から大学への文章表現教育」

「17歳の卒論」で知られる茗渓学園の個人課題研究の取り組みを紹介していただくとともに、新入生調査をもとに展開する大正大学の初年次教育の実践を報告します。ここでは、高校と大学の取り組みから見えてくる文章表現に関わる共通の意義や課題についても考えてみたいと思います。

第二部 ワークショップ

「協働する書き手を育てる」

「協働する書き手を育てる」をテーマにワークショップを行います。今回はとくに、生徒や学生による学び合いの手法の一つであるピア・フィードバックを取り上げ、「ピア・フィードバックができる主体と集団をどのように育てるか」を中心に学びます。ピア・フィードバックに関心がある方、これから取り組んでみたい先生はぜひご参加ください。

第三部 パネルディスカッション

基調講演および第一部の事例報告、第二部のワークショップを振り返り、パネルディスカッションを行います。参加者の疑問や質問も取り上げ議論し、文章表現教育の可能性と課題についてともに考えます。

ゲスト講師 プロフィール

渡辺哲司

文部科学省教科書調査官(体育)。
元九州大学アドミッションセンター准教授。専門は発育・発達学。『ライティングの高大接続』(島田康行との共著)、『大学への文章学』などの著書があり、論理的に書く力の育成について継続的に探究している。

三島侑子

茗渓学園中学校高等学校司書・司書教諭(情報科)。
同校情報科非常勤を経て2011年より現職。専任司書・司書教諭として、生徒一人ひとりの探究スキル向上を目指した教育活動に取り組んでいる。

澤田英輔

筑波大学附属駒場中・高等学校教諭(国語科)。
文章表現指導に关心があり、特にアメリカの実践者ナンシー・アトウェルのライティング・ワークショップに影響を受けて、日本の教室に取り入れる試みをしている。共訳書『イン・ザ・ミドルナンシー・アトウェルの教室』(三省堂)。

佐藤広子

創価大学学士課程教育機構准教授。
コーディネーターとして、全学必修「学術文章作法」の授業並びに日本語ライティングセンターの運営に携わっている。高等学校の国語科教員歴30年。共編著に『日本語力をつける文章読本』(東京大学出版会)他。

詳細・お申込みはQRコードまたは [大正大学 高大接続](#)
■事前申込制:定員120名
(締切:3月12日)

お問合せはこちら

大正大学 学長室 企画調整課
TEL:03-5394-3032
FAX:03-5394-3068
E-mail: kikaku@mail.tais.ac.jp

